
サ条約を「根拠」とする日本国籍「剥奪」

ふたつの最高裁判決の落差を問う

日本国籍のなしくずし剥奪を許さない会

Website [http:// kokuseki.info/](http://kokuseki.info/)
Phone & Fax. 03-3330-3016

●キム・ミョンガンさん日本国籍確認訴訟 控訴審・判決言い渡し

◆日時 2012年3月28日(水曜日) 13時15分から

当事者が揃うと定刻前でも始まります。余裕をもってお出掛けください。

◆場所 東京高等裁判所(裁判所合同庁舎) 5階・511号法廷

丸の内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関」下車、A1出口すぐ
有楽町線「桜田門」下車、5番出口徒歩1分

◆当日、14時から東京高等裁判所2階・司法記者会で記者会見を開きます。

加盟社以外で会見に参加を希望する媒体は上記連絡先にお問い合わせください。

●日本国籍確認訴訟とは

朝鮮人・台湾人は、日本の植民地統治によって日本国籍を一方的に押し付けられ、1952年サンフランシスコ講和条約(サ条約)の発効を機に日本国籍を一方的に「剥奪」される扱いを受けてきました。国籍変動については、サ条約に明文規定はなく、国内法が作られることも、国籍選択権が認められることもありませんでした。

キム・ミョンガンさんは1950年、日本国籍をもつ両親から日本で生まれた日本国籍者です。キムさんは、日本国籍「剥奪」は違憲・無効であり、今も日本国籍をもっているとして2010年、日本国籍確認訴訟を提訴しました。キムさんがこの裁判を通じて求めているのは、自分の意思で国籍を選ぶ権利です。

●人は領土や戸籍の付属物なのか？

1961年4月5日、最高裁は、サ条約の領土放棄に関する規定を「根拠」に、家制度の名残りである戸籍を基準とする自国民からの国籍「剥奪」を追認しました。まるで人が領土や戸籍の付属物であるかのようなこの判決が、個人の尊厳や法の下での平等を謳った日本国憲法下の判決とはとても信じられません。

その後、この最高裁判決が踏襲されて、宋斗会さんをはじめ日本国籍確認を求める朝鮮人・台湾人の訴えはすべて退けられてきました。キムさんの裁判でも、国の主張も一審の判決も、この粗悪な最高裁判決をただただ呪文のように繰り返すだけでした。



©横村さとる

●ふたつの最高裁判決の落差を問う

2008年6月4日、最高裁は国籍法3条違憲判決のなかで、本人の意思や努力によらない根拠による国籍の差別的取り扱いに対し、憲法14条（生まれによる差別）との関係で慎重に扱うべきとの見解を示しました。

一方、1961年判決は、本人の意思にも努力にもよらない理由によって実際にもっている国籍の「剥奪」を容認しました。問いたいのは、最高裁の両判決における「落差」です。

●伝えてください！裁判の意義と判決の内容を

サ条約発効から60年目の今年、再び粗悪な判決が繰り返され、最高裁判決の「落差」が放置されないよう、あなたが発信できるメディア（ブログ、ツイッター、会報、雑誌、学術・法曹関係誌など）で、ぜひこの裁判の意義と3月28日に言い渡される判決を取り上げ、広く伝えてくださるよう訴えます。

●裁判に対する賛同のお願い

・裁判を支援するため、個人賛同・団体賛同を募っています。

(1) 裁判に賛同する旨、(2) 賛同人のお名前と所属（任意）または賛同団体名、(3) お名前公表の可否、をお知らせください。ご連絡は、賛同金・郵便振替用紙の「通信欄」、当会ウェブサイト「連絡先」メール送信フォーム、電話またはFAXで。

・裁判に対する賛同金をお願いしています。個人賛同1000円、団体賛同2000円を一口として、下記の口座にお振り込みください。

郵便振替口座 口座記号番号 00150-1- 547874（右詰記入）
口座名称 なしくずし許さない会

■キム・ミョンガンさんの日本国籍確認訴訟に賛同します

●賛同人〔五十音順・敬称略〕

青柳敦子（宋斗会の会）、李敬宰（高槻むくげの会）、李福子、石岡洋子、井上和彦（やぶれっ！住基ネット市民行動）、呉珠響（首都大学東京健康福祉学部看護学科）、呉崙柄（在日コリアンの日本国籍取得権確立協議会）、大久保和子（調布ムルレの会）、大田季子、大溪花知、岡田寿彦（くぼったらかし40年）記念集会企画委員会（仮称）、奥山たえこ（杉並区議会議員）、小此木喜美代（調布ムルレの会）、柏木美枝子（反住基ネット連絡会）、川上正行、川原栄一、絹山達也、京極紀子（「日の丸・君が代」の法制化と強制に反対する神奈川の会）、斎藤栄子、桜井大子（女性と天皇制研究会）、佐藤信行（RAIK）、佐野通夫（こども教育宝仙大学教員）、菅原和之（「なくそう婚外子差別 つくれ住民票」訴訟原告）、高原さつき、伊達政保、中川信明、中島聡（東京水俣病を告発する会）、西尾真人、西中誠一郎、原田富弘（「国民総背番号制＝住基ネット」に反対する世田谷の会）、黄智英、福島有伸、楨村さとる、宮崎俊郎（住基ネットに「不参加」を！横浜市民の会）、宗像充（国立市民）、森友義（自由民権21）、森野光晴、矢島傑（社会新報）、匿名個人4人

●賛同団体〔五十音順〕

佐藤文明さんを偲ぶ会、女性と天皇制研究会、高槻むくげの会、調布ムルレの会、「なくそう婚外子差別 つくれ住民票」賛同アピールをすすめる会、反天皇制運動連絡会、やぶれっ！住基ネット市民行動